

郷音流

高田教区報

高田教区 第13次教化委員会テーマ
私はどこで生きているのか
～たずねよう 真宗の教えに～

2019年12月26日 第147号



横山 義信氏 撮影



発行所 真宗大谷派（東本願寺）高田教務所
上越市寺町2-24-4 ☎025-524-3913
<http://www.takada-kyoku.jp>

発行 橘 秀憲
印刷 永田印刷株式会社

高田別院報恩講の御報告と御礼

今年度の報恩講が10月10日(木)から13日(日)の三昼夜四日間の日程で厳修されました。あいにくの台風接近により、13日の公開講演会講師の見義悦子氏(富山教区)に御来院いただけなかったり、「おたや実行委員会」による出店などの催しが中止になったりと、大きな予定変更を余儀なくされた報恩講となりました。しかし、そのような中、大谷暢裕門首後継者(御鍵役能慈院殿・2020年7月1日付門首就任予定)に御参修いただいた際の帰敬式と結願日中法要を無事予定通りに執行出来たことは、大きな喜びでありました。また、悪天候にも関わらず、多くの方に出仕・参拝いただけたことも有り難いことでありました。心新たに来年度の報恩講への一年の歩みが始まりました。



新井別院報恩講の御報告と御礼

去る11月1日(金)より4日(月・祝)まで、今年も無事に新井別院報恩講が勤まりました。今年は期間中に休日・祝日が続き、幸いなことに天候も良く、3日の稚児行列や大根煮御振舞を無事快晴の下で行うことができました。総人数は1万6千人(妙高市観光商工課調べ)を超え、昨年よりも多くの方々のご参拝くださいました。新井別院にて毎年ご用意致しております御齋(昼食)も、多くの方々にお召し上りいただきまして、誠にありがとうございます。来年の報恩講も無事に勤まりますよう、準備を整えていきたいと思えます。



池の平青少年センター報恩講

報恩講に参加して

企画調整局書記 秋田 唯可

「第16回報恩講と新そばの夕べ」に京都から参加させて頂きました。雪が降る静けさの中で聴くオカリナとピアノの音色に、自らを振り返りながら仏法と真向いになることの貴重さを感じさせていただく時間となりました。おいしい新そばと温泉も楽しめる温かみのある報恩講はセンターならではのと思えます。翌日には、真新しく積もった雪景色の中を散策。はじめて見た妙高山が美しかったです。一緒に過ごさせていただいた皆さま、ありがとうございました。



子ども報恩講

子ども報恩講が高田、新井両別院の報恩講に合わせて10月13日(高田別院)と11月3

日(新井別院)に開催されました。両別院合わせて29名の子どものお参りがありました。今年は「赤本くん」が一緒にお参りしました。報恩講の内容はご本尊にお参りの後、絵本の読み聞かせや、簡単なゲームをします。お話をするスタッフも参加者の真剣な眼差しに、緊張感が走ります。スタッフ、子ども達や保護者、みんな一緒に手を合わせる大切な機会となりました。



赤本くん



得度受式者のつどい

得度受式者の集いが、去る10月12日高田別院報恩講の日中法要後に開催されました。

毎年、得度を受式し新しく僧侶になられた方々を対象として、報恩講に出仕いただき、僧侶となった自覚を持っていただくことを願いとして、また合わせて、新しい僧侶の誕生を参詣の方々と一緒に祝いできればと思います。開催しております。

少子化のせいかな年々僧侶となる方が少なくなってきました。いる中、今年度は8名の参加がありました。



青少年キャンプ

8月19日(月)から21日(水) 開催

8月19日(月)から21日(水)の日程で高田教区青少年キャンプが、上越市吉川区尾神で開催されました。スタッフを含めて83名の参加でした。天候には恵まれませんでした。報尽碑の参りなど自然と歴史に親しむキャンプとなりました。



差別問題研修

9月25日(水) 開催

9月25日(水)、群馬県にある国立ハンセン病療養所「栗生楽泉園くりうらくせんえん」、重監房資料館」を20人で訪れ、ハンセン病問題をめぐる差別と偏見について学びました。療養所では、入所者の方から直接お話しを聞く機会もあり、充実した学習会となりました。



報尽碑清掃・法要

9月28日(土) 開催

9月28日(土)、12組内の寺族、門徒を中心に26名の方が集い、朝9時から尾神嶽報尽碑の清掃をしました。汗を共に流した後、先人の遺徳を偲び法要をお勤めました。
「報尽碑清掃・法要」は毎年行っています。ぜひ、来年以降ご参加ご参勤ください。



高田別院奉仕研修

10月7日(月) 開催

報恩講前の秋の奉仕研修が10月7日(月)に110名を超える参加者のもと開かれました。勤行・館内清掃とおみがき作業ののち、井上一英氏(第13組福浄寺)からご法話をいただきました。立華・荘厳の準備を整え、報恩講を無事にお迎えさせていただくことに感謝する研修となりました。



男女平等参画を考える拡大学習会

10月29日(火) 開催

本山女性室から上田文あやきさんを迎え、拡大学習会を行いました。

自分が持つ「色眼鏡」は外すことができない。どんな色で見てどんなゆがみを持っているのか。自己覚知することが性差別を解き放つ一歩につながることを学びました。

第6組照蓮寺 藤原 朋子ともこ氏



教学研修会

11月11日(月)・12日(火) 開催

去る11月11日(月)・12日(火)三木彰円先生を講師に迎え、教学研修会が開催されました。

初日は、現世利益和讃の「天神地祇ハコトゴトク」より次第六首、翌日は大勢至菩薩和讃の八首について、二十数年に亘る丁寧な浄土和讃についての最後の講義をいただきました。

次回(2020年5月)から、新たに高僧和讃について講義いただきます。



法語ポスター

本当のものが
あからないと
本当でないものを
本当にする

安田理深

聞思学場だより

「聞思学場」での気付き



第7組 極生寺

尾崎 彰秀
おざき あきひで

「聞思学場」第四期では、『仏説阿弥陀経』の講義を受けて学んでいます。もちろん、経典の内容に学ぶことはとても多いのですが、私の一番の学びとなった事柄は、「よく読む」ということです。日頃から親しんでいる経典ではありますが、内容を考えながら読誦することは滅多にありませんでした。それでも、「どんな話なのかなあ」と、たまたま思い立ち、『真宗聖典』の書き下し文に目を通すこともありましたが、今思うと、ほ

んの表面だけを眺めていただけであったのだと思います。「阿弥陀さんの世界っていうのは、なんとも煌びやかなんだなあ」と思いながら、自分なりの風景を思い描いてみたり、「念仏を毎日しなさいって書いてあるなあ」などと、何となくわかったような気になることもありました。

以前は、法事等で読誦した後、さも心得ておるかのように「五濁悪世」や「今現在説法」等を取り上げて話をしていましたが、質問されていたら答えられません。「聞思学場」の講義では、一言一言を丁寧に説明していただいております。すると、今までの認識が全く見当違いであったことに気が付きます。「わかったつもり」でいるときには学ぶ姿勢もなく、「全くわからない」ということに気づい

て初めて学びが始まったのです。しかし、「わからない」という気付きすら自分では起こせず、学びのご縁をいただいていたようやく起こるのです。

私には、『仏説阿弥陀経』のみならず、他にもわかったつもりのお聖教や法語がたくさんあるはずですが、それらに気付いていくために、一文字ずつ丁寧に意味を確かめていく必要があることを学びました。

この経験を活かし、何事も「なんとなくわかった」ではなく、「よく読み」「よく聞き」を意識し、自分で「こうだ」と納得しても、座談などを利用して認識を確かめていきたいと思っています。「聞思学場」には、そのための「場」が整っており、有意義な時間をいただいております。

門徒会員女性研修会に参加して

10月15日(火) 開催

第5組 林覺寺 門徒

古川 ふるかわ和代 かずよ

夫が逝って、住職のお勧めで推進員養成講座を受講し推進員になり3年。お仏壇は私の「拠り所を確認する為の大切な場所」。夫を供養する場ではないと知り、私は浄土真宗の門徒だと漸く自覚しました。

お寺の行事には殆ど参加できませんが、同朋会や推進員の会に参加する機会があります。ここでは男性がほとんど全てを担い、女性は裏方をされています。女性参画や活躍が声高に叫ばれても、なかなか変わらないうように、仏教の世界もまだまだ差別社会だと思いました。門徒会員ではないのに、女性研修会が開催されると聞き出席。浄土真宗の教団の定義、男女平等参画推進への取組みの歴史等、丁寧な説明を受け、女性への偏見も多々ある中、女性住職の道も開かれ、長年の地道な取組みを通して門徒会の女性定員枠を決める等々、明日に繋がっていくと実感。参加させて頂き有難うございました。

教区改編

2020年12月の教区会・教区門徒会において議決予定である「合意事項」について高田・三条両教区において協議検討が重ねられている。昨年度までの経緯については2019年度版『高田教区報』(35〜43頁)と今回教区内全寺院に送付された報告書を参照いただきたい。教区改編は組織、財務、教化を中心に高田・三条、両教区の委員が検討を行っているが、当然教区人である私たち一人ひとりが考えていかなければならない。「第2次教区改編説明会」が今後に予定されている。ぜひご参加いただきたい。

合意事項

- ① 新教区の名称に関する事項
- ② 改編実施に係る日程に関する事項
- ③ 教務所及び教区の施設に関する事項
- ④ 改編前の改編関係教区の財産に関する事項
- ⑤ 新教区に編入される別院に関する事項
- ⑥ 新教区の組の名称に関する事項
- ⑦ その他必要な事項

教区同朋会議

12月5日(木) 開催

2020年5月に第13期高田教区教化委員会任期満了を迎える。教区御遠忌を機に教化体制の見直しが行われてきた。別院、組、寺院、門徒とどのように関わるのか、教区教化の在り方が問われている。そのようなか、教区教化委員、正副議長をはじめ各組、各組門徒会の代表者、約60人が会し、12月5日に「同朋会議」が開催された。当日は今期3年間の教化委員会の現状報告の後、10班に分かれ「ワークショップ」を行い、寺院と門徒のコミュニケーション不足という課題が浮き彫りとなった。当日のワークショップの内容は高田別院会館に掲示されているので、ぜひ一度直接見ていただきたい。

教化委員会規則の改定を経て、新たに第14期教化体制が2020年度からスタートするが、教区人一人ひとりが協力しあう、共学を体現していく教化の展開が望まれている。



愚僧のつぶやき

〈真宗の葬儀編⑦〉

ご遺体を安置しましたら、枕荘りとなりますが、ここで浄土真宗のみ教えにそぐわない様々な慣習が出て参ります。

まず一つに、「守り刀」があります。ご遺体の胸の辺りに短刀を置くものです。これは、昔、死亡した武士の枕元に刀を置いて武士としての姿を示すものであったものが、いつの間にか魔除けとして用いる様になったといわれています。

又、「一膳飯」といしまして、ご飯茶碗に山盛りのご飯を入れ、その上に箸を刺して亡き人に差し上げるものがあります。これには諸説ありまして、人が死ぬとその魂が山路を旅するとか、善光寺詣りをするなどといわれており、その旅立ちの前の腹

ごしらえを一膳飯といいます。そして、この一膳飯がないと旅立ちも成仏も叶わなくなるという民俗信仰からきているそうです。

けれども、親鸞聖人は『末灯鈔』という書簡集の中で、「真実信心の行人は撰取不捨のゆえに正定聚のくに住す。このゆえに臨終まつことなし、来迎たのむことなし。信心の定まる時、往生また定まるなり」と仰っています。つまり、浄土真宗におきましては、今生のご縁が尽きたら、そのまま阿弥陀様のお浄土に迎え取られ、仏様と成らせていただくのでありますから、守り刀も一膳飯も必要ないことでもあります。

又、その他にも、ご遺体の近くに屏風を上下逆さまにして立てる「逆さ屏風」や、ご遺体に衣服を上下逆さまに掛ける等の習慣もあります。これらは全て、死を異常なこと、不

吉なことと見る考え方によるものです。浄土真宗におきましては、「生のみが我らにあらざ、死もまた我らなり」と頷き、「生は偶然、死は必然」といただく宗旨であります。ですから、当然、そうした習慣は不要である訳です。

浄土真宗の枕荘りとは、お内仏の扉を開け、お灯明を点じ、花瓶に檜を挿します。そして、ご遺体の枕辺りに小机を設け、香炉と燭台を置きます。香炉には、香を燃じて絶やさないようにします。これを不断香といえます。その場を清浄な香気をつむためのものです。又、燭台には蠟燭を点じます。これは、永別に見舞った人に亡き人のお顔がよく見えるためのご面灯としてのものです。又、ご遺体には清潔な衣服を着せ、両手を胸元で合わせ念珠を掛けます。



高田別院俳句の会

日時 毎月20日
13時30分より
選者 藤原 哲
(ホトトギス同人・日本伝統俳句協会新潟県会長)
会場 高田別院
参加費 500円
持ち物 筆記具
※季節(季語)の語る日本の四季を味わいましょう。

『響流』表紙写真募集

『響流』の表紙を飾る写真、絵画等を募集します。
応募いただいた中から編集委員会において選考させていただきます。
問い合わせ、応募先は
高田教務所まで

尾神嶽報尽碑殉難を偲んで：

「尾神嶽殉難」のあった3月12日に雪中参拝を行っています。
ぜひ、先人の遺徳を偲ぶとともに、本廟護持、法義相続を確かめましょう。
期日 3月11日 研修会
3月12日 雪中参拝
申込み 第12組
※詳細は改めて各御寺院にご案内します。

先生、バスケットがしたいです！

バスケットボール、フットサルの球技をはじめ、バーベキュー等、様々なイベントをとおして交流をはかりませんか？
興味のある方はぜひご連絡ください。
年齢、性別問いません。
窓口 高田教務所

世界の文化を宗教から学ぶ

講師 松田 慎也氏
上越教育大学名誉教授
偶数月は高田会場
奇数月は吉川会場
時間 19時～
参加費 1000円
申込み・問合せ
・真宗寺 淀野 壮介
090-8017-6402

真宗大谷派

高田教区

元気なお寺づくり講座

こういったことでお悩みのお寺さんに特にオススメです!!

「お寺の将来が不安だけど、何から手をつけていいかわからない…」
 「一生懸命、教化事業をやってきたけど、マンネリ化…新しい形を考えたい。」
 「色々考えているけど、なかなか動けない。新しくスタートするきっかけがほしい！」

社会の人々
仏教に興味はあるけど、お寺には行きづらいなあ

門徒
お寺さんは大事だけど、子や孫の代は心配…

住職
ご門徒は転居、関係もだんだん希薄になってきた…
お寺はこのままで大丈夫だろうか…

第1回	2020年3月13日(金)	会場	高田別院	開催協力 真宗大谷派 高田教区 主催 真宗大谷派宗務所 企画調整局 寺院活性化支援室 ■申込書送付＆問い合わせ先 真宗大谷派 高田教務所 〒943-0892 新潟県上越市寺町2丁目24番4号 電話 025-524-3913 FAX 025-524-2645 E-mail kikaku@higashihonganji.or.jp
第2回	2020年4月15日(水)	時間	14:00~17:30	
第3回	2020年5月15日(金)	参加費	無料	
第4回	2020年6月8日(月)	※全5回の参加をお願いします。		
第5回	2020年7月中旬頃予定			

講座の内容は、「元気なお寺づくり講座」(寺院活性化支援室 発行)のパンフレットをご参照ください。
 参加対象：高田教区に所属する寺族と門徒のチーム
 ※寺族(住職・坊主・准坊主・候補衆徒・衆徒等)と門徒の2~3人で1チームとします。
 ※講座の趣旨から、寺族のみまたは門徒のみのご参加はご遠慮いただいております。
 申込方法：所定の「申込用紙」に必要事項を記入し、2020年1月末日までに郵送またはFAXにて高田教務所へお送りください。

『響流』ご意見、ご感想

『響流』に対するご意見、ご要望をお聞かせください。
より多くの方に手に取っていただける教化発行を目指して皆様のご協力をお待ちしております。

あなたも利用しませんか？

組、寺院、有志で開催されている学習会、行事等の告知、募集スペースとしてご利用いただけます。
『響流』は年間3回
4月、8月、12月に発行予定です。
掲載希望の方は高田教務所にお問い合わせください。

完納御礼

2019年度宗派経常費（相統講金・同朋会員志）をご進納いただき誠にありがとうございます。
うごぎいます。

ここに、完納いただきましたご寺院名を
ご披露し、御礼にかえさせていただきます。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|-----|--|-----|--|-----|-------------|-----|-------------------------|-----|---|-----|--|-----|--|-----|--|------|---|------|---|------|--|------|--|
| 第1組 | 大雲寺 雲晴寺 長願寺 光徳寺 本立寺 寶光寺
清雲寺 圓照寺 常誓寺 西性寺 徳正寺 正覺寺
光照寺 勝蓮寺 廣傳寺 西光寺 專徳寺 | 第2組 | 善正寺 來遊寺 乘雲寺 法圓寺 東浄法寺
唯心寺 恩敬寺 寶善寺 西福寺 興順寺 大蓮寺
常圓寺 陽嚴寺 萬徳寺 明通寺 通託寺 | 第3組 | 西性寺 正願寺 明了寺 禮信寺 明福寺 大泉寺
光榮寺 安專寺 應満寺 正光寺 浄福寺 浄念寺 | 第4組 | 宗專寺 皆順寺 敬音寺 | 第5組 | 流泉寺 西榮寺 林覺寺 光源寺 林正寺 善正寺 | 第6組 | 覺法寺 信光寺 忍西寺 寶善寺 蓮光寺 智願寺
照行寺 ^{春日山} 勝念寺 福成寺 等正寺 浄光寺 教專寺
金光寺 照行寺 ^{東本町} 善念寺 雲妙寺 安養寺 玉梅寺
照蓮寺 蓮受寺 養福寺 西安寺 浄蓮寺 明善寺
常榮寺 樹徳寺 了源寺 本浄寺 本誓寺 長樂寺
真宗寺 法林寺 浄國寺 安傳寺 長命寺 最尊寺
浄照寺 長圓寺 林西寺 長徳寺 光運寺 本覺寺
西光寺 得願寺 願重寺 光照寺 最賢寺 善福寺
佛現寺 佛性寺 願通寺 | 第7組 | 皆遵寺 入善寺 妙行寺 願樂寺 照光寺 間稱寺 ^{下町}
康源寺 道因寺 願生寺 誓願寺 善性寺 慶樂寺
圓常寺 西谷寺 靈山寺 福藏寺 願勝寺 敬覺寺
圓了寺 唯念寺 ^{飛田} 正行寺 長徳寺 明道寺 勝福寺
得法寺 浄善寺 ^{大谷} 光源寺 廣建寺 明樂寺 覺願寺
慈雲寺 間稱寺 ^{板倉} 浄嚴寺 正善寺 圓光寺 西蓮寺 ^{二俣}
浄善寺 ^{関川} 福因寺 西蓮寺 教蓮寺 正念寺 法泉寺
本龍寺 勝樂寺 本覺寺 妙土寺 | 第8組 | 泉光寺 長念寺 正福寺 養林寺 本覺寺 圓性寺
等覺寺 明岸寺 勝名寺 入光寺 覺願寺 延壽寺 | 第9組 | 阿彌陀寺 稱名寺 大嚴寺 浄音寺 蓮休寺
西方寺 願立寺 源長寺 浄琳寺 臨行寺 西養寺
向源寺 明善寺 慈圓寺 | 第10組 | 照圓寺 鞍馬寺 敬覺寺 本教寺 添景寺 高德寺
法善寺 妙玄寺 教願寺 稱專寺 能念寺 光圓寺
一念寺 福樂寺 輪鳳寺 高原寺 了慧寺 照源寺 | 第11組 | 善立寺 法西寺 徳藏寺 養善寺 明善寺 福正寺
光圓寺 延慶寺 横超寺 西忍寺 性徳寺 敬泉寺
西願寺 敬徳寺 | 第12組 | 本敬寺 龍覺寺 ^{下荒旗} 信光寺 浄泉寺 願專寺 龍覺寺 ^{頸城}
最尊寺 浄嚴寺 明通寺 松橋寺 徳專寺 雙善寺
光徳寺 養性寺 照專寺 西念寺 正法寺 養法寺
惠光寺 善照寺 龍光寺 了僧寺 啓明寺 光遍寺
稱念寺 船入寺 願念寺 | 第13組 | |
|-----|---|-----|--|-----|--|-----|-------------|-----|-------------------------|-----|---|-----|--|-----|--|-----|--|------|---|------|---|------|--|------|--|

（2019年7月1日～11月30日）

以上235カ寺

● おくやみ申しあげます

ご生前のご功労を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第2組 法圓寺前住職 菴澤 紹隆

第7組 法泉寺住職 虎石 秀

第11組 了慧寺前坊守 片桐ヨシ子

● おめでとうございます

◎住職任命

第11組 添景寺 長尾 倫章

◎得度

第2組 東浄法寺 比護佳和子

第4組 慈圓寺 梅澤 一颯

第4組 慈圓寺 梅澤 琴春

第4組 正行寺 芳野 雪香

第4組 正行寺 芳野 維姫

第5組 智願寺 大道 綾香

第8組 長念寺 小島 唯央

第8組 願立寺 草間 久予

第13組 浄嚴寺 坂井 真識

第13組 西念寺 徳山 樹心

こもれび

私の近所に、法林寺さんの檀家がいる。

御遠忌兼本堂落慶法要に呼ばれたので、礼

服のネクタイは黒

か？包みものの表

書きは？水引は？

と聞きに来た。

祝事だから、白

ネクタイ・赤水引

(または無し)・表

書き「御祝」だろ

うと答えた。



すると、御遠忌は親鸞聖人の法事だから、黒ネクタイ・黄色水引・志ではないのか？と突っ込まれた。

うくん。なるほど。「世間通途の義に順

じるのは難しい。

結局、普通のスーツで、包みものは、赤

水引・御祝にしたそうだ。

(法隆)

